

# 平成22年度第1回倉吉未来中心利用者懇談会 概要

【現委員数】13名

今回出席委員：9名

※オブザーバー他関係者：3名

□は、委員からの主な意見の概要

●は、倉吉未来中心の対応及び取組状況

□アルテ（鳥取県文化振興財団発行）の誌面は、4月から大変見やすくなった。島根県の情報誌（キャッチ）はページ数も多く、内容も多方面にわたっている。アルテは内容が乏しい。また、個々のイベント内容が、もう少し詳しく書いてあれば、行ってみたいという気持ちになる。

●予算の関係で現在のページ数となっている。島根県は、情報誌作成の専門部署があり、予算も多いと聞いている。今後の誌面づくりの参考とする。

□アルテは字が小さく見えにくい。いろいろな年齢層が見ることを考えて作成してほしい。

●今後の誌面づくりの参考とする。

□利用者からの意見を見て、スタッフの努力がうかがえる。いろいろな利用者があるが、良い対応をしている。21年度未収金の回収はどうなっているか。

●ほとんどが3月末利用の利用料である。4月中に全て回収している。

□意見を書いた人へ、直接、対応状況を回答しているのか。

●アンケート用紙の中に、ご意見への対応状況はホームページで公開すると記載している。利用者も複数人であり、どの人が記入したのかわからないため、利用者へは直接回答していない。また、ホームページ以外にも、館内の階段下へも掲示し一般公開している。

□前回の懇談会で意見があったように、外の照明をもっと明るくしてほしい。

●先日も駐車場のタイヤ止めにつまずいて怪我をされた方があった。急いでおられたうえに夜間であったため、気づかなかったようである。大きな事故が起きてからでは遅いので、設置者である鳥取県、倉吉市へ強く要望していく。

□いろいろ改善をしている。県外に向けての情報発信や交流がもっと図れるとよい。

●全国どこからでも見ることができるホームページを活用し、情報発信に努めたい。

□利用者からの意見で、「西出口がいつも閉まっている。」とあるが、表示はしてあるのか。

●ガラス扉に、非常用出口のため通常出入りできないことを表示している。この扉の付近には、隣のレストランの出入口と、プロパン庫の扉があり、開閉の際ぶつかると危険であるため閉めきっている。もともと非常口として作られたものであり、本来の出入口となっていない。

□とりアートのメイン事業はどうやって決めているのか。

●とりアート実行委員会（各地区委員会）で決定している。

□苦情への対応は大変丁寧で感心する。苦情件数を限りなく0%に近づけて欲しい。

鳥取・米子間が高速化になると、倉吉は素通りが心配される。倉吉を鳥取や米子と差別化できるような考えはあるか。

●鳥取・米子間が時間短縮されると、鳥取県の中央という地理的な利点が活かせなくなる危惧はある。しかし、興味を持ってもらえるような企画をすれば、人は集まってくる。委員の皆様もすばらしい企画を考えてほしい。倉吉未来中心はその媒体（情報発信の場）となっていく。

□前回の懇談会の意見にあった小ホールの客席扉の鍵が閉めにくい件については、いつ頃直したのか。7月に利用した時、閉めにくかった。

●4月に直したが、再度調整する。

□梨記念館側入口付近への案内板の設置可能場所はどこか。

●設置場所の詳細は、その都度スタッフに相談していただき、記念館の営業に支障のない範囲で、通行の妨げにならないよう設置してほしい。

□大ホール下手側後方の音響反射板の出入り口が狭く、ティンパニーなど大型楽器が通らない。吹奏楽コンクールの時、楽器の移動が大変であった。

●反射板の前方は広げる余地はあるが、後方はフレーム（構造）の関係で難しい。今後のホール大改修の時に検討する。

□吹奏楽部の利用などでは、学校減免制度で利用料はかからないが、減免適用は本番とリハーサル1日のみである。部費も集まりにくいいため、それ以外も減免してほしい。

□とりアートのメイン事業の方針が、演劇と音楽というような同じようなものでずっときているように感じる。もっと違うジャンルを考えてみてはどうか。必ずしも地元のネタにこだわらなくてもいいのでは。

●内容はとりアート実行委員会が決められているので、意見があったことをお伝えする。

□館内にATMを設置してほしい。

●ATM設置の条件は、立地条件、集客力などが影響するようであり、当館は難しいようである。過去に検討したことがあるが、難しかった。

□ホールでの録音の場合、MD録音はできるが、CD録音はできない。できるようにならないか。

●現在、CD録音できる機材が設置されていない。今後MDは生産中止となる可能性があり得るため、設置者である鳥取県へ機材の設置を要望する。